

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成26年2月7日

**【四半期会計期間】** 第30期第3四半期(自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日)

**【会社名】** コムチュア株式会社

**【英訳名】** COMTURE CORPORATION

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役会長 向 浩一

**【本店の所在の場所】** 東京都品川区大崎一丁目11番2号

**【電話番号】** 03-5745-9700(代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役経営管理本部長 細川 琢夫

**【最寄りの連絡場所】** 東京都品川区大崎一丁目11番2号

**【電話番号】** 03-5745-9700(代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役経営管理本部長 細川 琢夫

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第29期 第3四半期 連結累計期間	第30期 第3四半期 連結累計期間	第29期	
				会計期間
売上高	(千円)	5,238,646	6,059,716	7,168,296
経常利益	(千円)	511,245	742,000	811,028
四半期(当期)純利益	(千円)	318,641	449,587	475,792
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	326,040	444,116	495,735
純資産額	(千円)	2,585,754	3,058,179	2,756,433
総資産額	(千円)	3,690,236	4,268,983	4,147,202
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	60.69	85.05	90.63
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)	59.83	83.84	89.11
自己資本比率	(%)	69.8	71.5	66.2

回次	第29期 第3四半期 連結会計期間	第30期 第3四半期 連結会計期間	
			会計期間
1株当たり四半期純利益金額	(円)	18.16	28.12

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。  
 2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権の経済対策などの効果により、円高是正、株価回復が進み、企業収益や個人消費に改善の動きが見られるなど、先行きに明るい兆しが見えております。

当社グループが属する情報サービス産業においても、この企業の景況感の改善で、IT投資意欲も高まりつつあります。

このような経営環境の中、当社グループにおきましては「クラウド&モバイル」を中心に、4つの分野（グループウェアソリューション事業、ERPソリューション事業、Webソリューション事業、及びネットワークサービス事業）での事業を推進してまいりました。また、高付加価値化の追求、生産性向上への取り組みも継続的に行ってまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、次のとおりであります。

売上高	6,059,716千円	（前年同四半期比 15.7%増）
営業利益	722,381千円	（前年同四半期比 46.5%増）
経常利益	742,000千円	（前年同四半期比 45.1%増）
四半期純利益	449,587千円	（前年同四半期比 41.1%増）

主にクラウド事業の拡大、大規模ユーザからの受注増、及び金融分野での受注拡大などにより当社のビジネスは堅調に推移いたしました。利益面では、継続的な高付加価値戦略に伴い一人当たり売上高が増大したこと、開発の標準化などによる生産性向上への取り組み、及び販管費率の改善などから利益率の向上が図られました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ソリューションサービス関連

当セグメントにおきましては、営業及びシステム構築現場の第一線にてお客様の要望や関心（ささやき）を吸い上げ、社内で知恵だしを行い、新たな提案・製品（カタチ）にしてお客様に応える「ささやきをカタチに」する活動を重点施策として実行いたしました。その結果、クラウド&モバイル市場の成長を背景とした事業の拡大に加え、金融分野においてネットバンキングの新システム構築などから、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,963,972千円（前年同四半期比15.1%増）、営業利益は521,440千円（前年同四半期比19.6%増）となりました。

#### プロダクト販売関連

当セグメントにおきましては、新規顧客獲得による営業報酬増額、及びSalesforce.comの販売が好調であったことなどにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は86,995千円（前年同四半期比59.7%増）、営業利益は42,051千円（前年同四半期比708.4%増）となりました。

#### ネットワークサービス関連

当セグメントにおきましては、震災の影響に伴うクラウド活用の拡大、データセンタの運用ニーズ及びネットワーク基盤サービスに対する需要の高まりを受け、積極的な事業展開をいたしました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,116,049千円（前年同四半期比17.6%増）、営業利益は158,889千円（前年同四半期比205.5%増）となりました。

## (2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べて121,780千円増加し、4,268,983千円となりました。これは主に、投資有価証券が205,603千円減少したものの、現金及び預金が238,887千円、受取手形及び売掛金が105,376千円それぞれ増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度末に比べて179,965千円減少し、1,210,803千円となりました。これは主に、買掛金が171,481千円増加したものの、未払金が198,209千円、賞与引当金が119,822千円それぞれ減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度末に比べて301,745千円増加し、3,058,179千円となりました。これは主に、配当金の支払額が163,673千円あったこと、四半期純利益を449,587千円計上したことによるものであります。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	17,400,000
計	17,400,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成26年2月7日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	5,324,400	5,326,200	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株でありま す。
計	5,324,400	5,326,200		

- (注) 1. 提出日現在発行数には、平成26年2月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は、含まれておりません。  
 2. 平成25年11月22日をもって、当社株式は東京証券取引所市場第一部に上場しております。

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年10月1日～ 平成25年12月31日 (注)	16,500	5,324,400	2,953	322,217	2,953	262,217

(注) 新株予約権の行使による増加であります。

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)			
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,307,000	53,070	
単元未満株式	普通株式 900		一単元(100株) 未満の株式
発行済株式総数	5,307,900		
総株主の議決権		53,070	

- (注) 1. 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が4,800株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数48個が含まれております。
2. 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式81株が含まれております。
3. 当第3四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

平成25年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
計					

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成25年10月1日から平成25年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、太陽A S G有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,843,188	2,082,075
受取手形及び売掛金	994,288	1,099,665
仕掛品	19,503	55,982
その他	159,508	150,758
流動資産合計	3,016,487	3,388,481
固定資産		
有形固定資産	313,932	288,391
無形固定資産		
のれん	69,711	55,769
その他	14,970	10,073
無形固定資産合計	84,681	65,843
投資その他の資産		
投資有価証券	439,622	234,018
差入保証金	176,640	176,640
その他	115,838	115,608
投資その他の資産合計	732,100	526,266
固定資産合計	1,130,714	880,501
資産合計	4,147,202	4,268,983
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	298,443	469,925
未払費用	158,326	187,242
未払法人税等	224,512	155,204
賞与引当金	154,801	34,979
役員賞与引当金	11,700	13,404
その他	401,189	211,972
流動負債合計	1,248,973	1,072,728
固定負債		
資産除去債務	55,899	55,390
その他	85,895	82,684
固定負債合計	141,795	138,074
負債合計	1,390,769	1,210,803



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	308,900	322,217
資本剰余金	248,900	262,217
利益剰余金	2,174,494	2,460,407
自己株式	38	38
株主資本合計	2,732,256	3,044,804
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,443	8,972
その他の包括利益累計額合計	14,443	8,972
新株予約権	9,734	4,402
純資産合計	2,756,433	3,058,179
負債純資産合計	4,147,202	4,268,983

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
 【四半期連結損益計算書】  
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	5,238,646	6,059,716
売上原価	4,131,683	4,650,775
売上総利益	1,106,963	1,408,941
販売費及び一般管理費	613,831	686,559
営業利益	493,131	722,381
営業外収益		
受取利息	5,867	9,704
受取配当金	12,363	294
投資有価証券償還益	-	13,212
その他	757	1,207
営業外収益合計	18,989	24,418
営業外費用		
有価証券償還損	525	-
事務所移転費用	-	4,796
その他	350	3
営業外費用合計	875	4,799
経常利益	511,245	742,000
特別利益		
投資有価証券売却益	7,550	3,875
特別利益合計	7,550	3,875
特別損失		
投資有価証券評価損	0	-
特別損失合計	0	-
税金等調整前四半期純利益	518,795	745,876
法人税、住民税及び事業税	200,153	296,289
少数株主損益調整前四半期純利益	318,641	449,587
四半期純利益	318,641	449,587

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	318,641	449,587
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,398	5,470
その他の包括利益合計	7,398	5,470
四半期包括利益	326,040	444,116
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	326,040	444,116
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	
税金費用の計算	税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
減価償却費	52,471 千円	40,155 千円
のれんの償却額	13,942 "	13,942 "

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月21日 定時株主総会	普通株式	64,750	3,700	平成24年3月31日	平成24年6月22日	利益剰余金
平成24年10月26日 取締役会	普通株式	57,750	11	平成24年9月30日	平成24年12月7日	利益剰余金

(注) 平成24年4月1日付で普通株式1株につき300株の割合で株式分割しております。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの  
 該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月20日 定時株主総会	普通株式	78,748	15	平成25年3月31日	平成25年6月21日	利益剰余金
平成25年10月25日 取締役会	普通株式	84,925	16	平成25年9月30日	平成25年12月9日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの  
 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注2)
	ソリューションサービス関連	プロダクト販売関連	ネットワークサービス関連	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,443,266	21,013	1,774,366	5,238,646		5,238,646		5,238,646
セグメント間の内部売上高又は振替高		33,450	24,650	58,100		58,100	58,100	
計	3,443,266	54,463	1,799,017	5,296,747		5,296,747	58,100	5,238,646
セグメント利益	435,928	5,201	52,002	493,131		493,131		493,131

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注2)
	ソリューションサービス関連	プロダクト販売関連	ネットワークサービス関連	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,957,822	6,445	2,095,448	6,059,716		6,059,716		6,059,716
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,150	80,550	20,600	107,300		107,300	107,300	
計	3,963,972	86,995	2,116,049	6,167,017		6,167,017	107,300	6,059,716
セグメント利益	521,440	42,051	158,889	722,381		722,381		722,381

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	60円69銭	85円05銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	318,641	449,587
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	318,641	449,587
普通株式の期中平均株式数(株)	5,249,952	5,286,286
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	59円83銭	83円84銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)		
普通株式増加数(株)	75,718	76,024
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

## 2【その他】

第30期(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)中間配当について、平成25年10月25日開催の取締役会において、平成25年9月30日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	84,925千円
1株当たりの金額	16円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成25年12月9日

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年2月5日

コムチュア株式会社  
取締役会 御中

太陽A S G有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 和田 芳 幸 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 石 原 鉄 也 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているコムチュア株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成25年10月1日から平成25年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、コムチュア株式会社及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。